

採用チームからのメッセージ

一日数千便、数十万人のお客さまがいらっしゃる東京国際空港(羽田空港)・成田国際空港では、日々さまざまな出来事が起こります。

その中で私たちJALスカイは、仲間と協力し安全と定時運航を守ること、そしてお客さまに感動していただけるようなサービスを提供することを喜びとし、それを力に変えて働いています。

飛行機は、個人の力では決して飛ばすことはできません。一便一便の運航に多くの社員が関わり、互いを思いやりながら業務に全力で向き合っている、そんな姿をぜひ知っていただくと嬉しいです。

私たち採用チームメンバーも、これまで空港でのさまざまな業務を通してたくさんのお客さまと向き合い、仲間とともに安全運航のため力を尽くしてきました。

採用という場においてもそれは変わることなく、皆さまの輝かしい未来と真剣に向き合っていきたいと思えます。この先、どのようなことを実現したいか、どのようなキャリアを築いていきたいか、考えてみてください。

「さまざまな事柄に果敢にチャレンジし、前向きに成長したい」

そう考えるあなたの力が、JALスカイには必要です。

皆さまとお会いできることを楽しみにしています。



株式会社 JALスカイ

〒144-0041
東京都大田区羽田空港3-3-2
第1旅客ターミナル4階
E-mail saiyo.jalsky@jal.com

採用情報は
こちらから



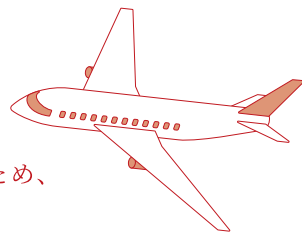
挑戦は、空へ。
そして未来へ。

株式会社 JALスカイ

chapter 1

JALスカイを知る

JALグループの「顔」として、お客さまの安全で快適な空の旅を支えるため、日本の空の玄関口である羽田空港・成田空港でさまざまな業務に取り組んでいます。



日本の空を支える、「地上の最後の砦」として

羽田空港・成田空港で、JALグループおよびJALが受託する外国航空会社便の旅客サービスとステーションオペレーションを担っています。安全を大前提に、定時性・快適性・利便性を追求した最高のサービスの提供を目指し、社員一人一人がそれぞれのフィールドで品質の向上に努めています。

東京国際空港(羽田空港)



国内線が多く発着する羽田空港は、日本の地方と世界をつなぐ役割を担っており、観光やビジネスなど世界中の多くのお客さまのニーズに対応しています。

成田国際空港

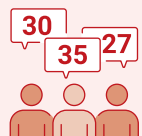


成田空港は、国際線やLCCの発着が多く、全世界に広がる豊富な国際線ネットワークを持つ日本と世界の架け橋となっています。

数字で見るJALスカイ

PICKUP DATA

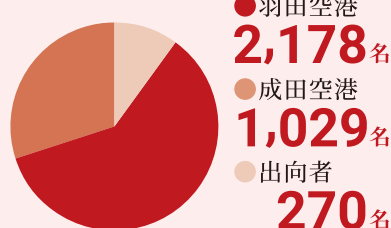
【平均年齢】



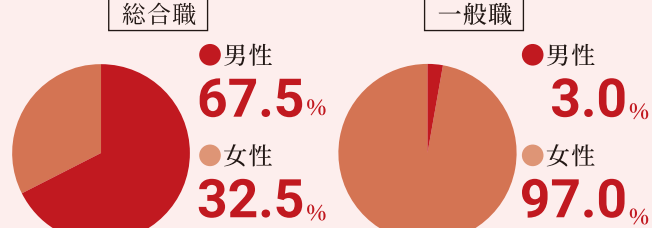
31.0

歳

【従業員数】



【男女比率】

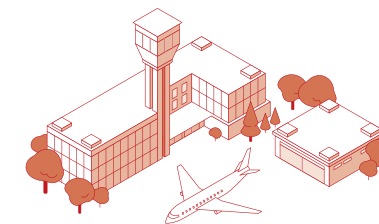


2024年12月現在

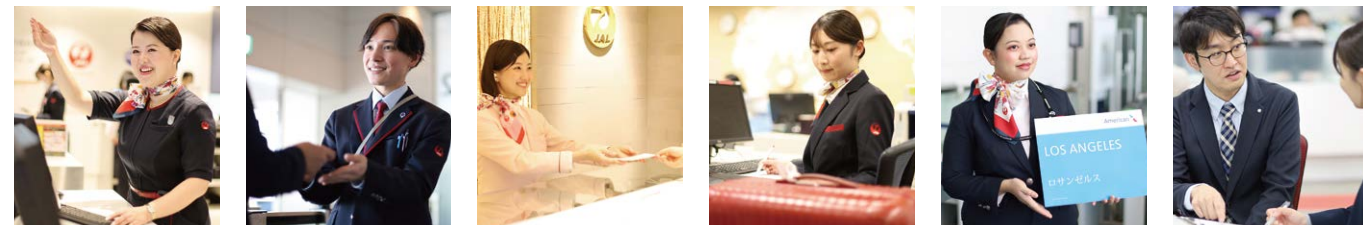
chapter 2

仕事と職種を知る

馴染みのあるカウンターやトラフィック業務だけではなく、デスクやステーションオペレーションなど、見えないところでも安全で快適な空の旅を支えています。



JALスカイ業務の紹介



カウンター業務

旅の始まりであるご搭乗手続き(チェックイン)において、多様なニーズに合わせたサポートを行います。

トラフィック業務

出発便、到着便におけるお客さまのご案内、さらにお乗り継ぎのサポートを行います。

ラウンジ業務

おもてなしの心を添えて、上質な時間をお過ごしいただけるよう『くつろぎの空間』を提供しています。

手荷物サービス業務

お手荷物が未着の場合に捜索を行ったり、お手荷物に破損があった際は修理や保険のご案内をします。

外航受託業務

JALが受託する外国の航空会社のカウンター業務やトラフィック業務を行います。

ステーションオペレーション業務

航空機の運航に関わる多種多様な情報を取り扱い、必要な情報をパイロットや社内外の関連する部署へ発信しています。

職種紹介

グローバルフィールドコース(総合職)



現業部門・間接部門・マネジメント経験の知見を活かし、JALグループ全体の経営のトップマネジメントを担う人財となる

メインベースコース(一般職)



実務のプロフェッショナルとして、空港ハンドリングや空港運営のトップマネジメントを担う人財となる

働く人を知る

山口 Yamaguchi

羽田事業所
総務部運営グループ
2017年入社
法政経学部卒



さまざまな視点から空港を見て
より良い環境を追求していく

入社動機

訪れる人みんなにそれぞれのストーリーがある空港が好きで、空港で働ける仕事を探す中でJALスカイの存在を知りました。当社の主力事業である接客やオペレーションの仕事に興味があり、いつか海外で働きたいという思いもあって、グローバルフィールドコースを選択しました。

現在の仕事内容

羽田空港支店の予算計画の立案や、予算と実績の乖離の把握など、空港の予算管理を行っています。それに加えて、部門別採算活動の現場サポートも担当。他にも、第3ターミナルのJALエリアの施設担当を任されており、日々の清掃状況の確認や施設の改修プロジェクトの企画・実行など、社員が快適に働ける環境づくりを推進しています。

仕事の魅力・やりがい

何億、何十億という予算を管理し、毎月の収支状況を支店長たちに報告することが主な役割。空港の現場を離れた間接業務は初めてでしたが、予算管理という立場から会社の経営に関わることができ、これまではないやりがいを感じています。施設担当としては現在、休憩室の改修を進めています。自ら考え、決定権を持って改修計画を立案し、先日、業者の選定が終わったところ。これから工事を進めていくのですが、無事完成し、現場の社員に喜んでもらえる日が今からとても楽しみです。

入社後に感じたギャップ

覚えることが多く、仕事に慣れるまでが大変なこと。グランドスタッフの仕事は細分化されており、年次が上がるたびに新しい業務を次々習得しなければなりません。ステーションオペレーション部門に異動したときは、飛行機がなぜ飛ぶのかといった物理的な学びも必要で、別の業界に転職したような感覚になりました。

今後の目標

昨年、会社の留学制度を利用して8か月間、タイに語学留学したのですが、海外での生活はとても新鮮で、海外空港で働きたいという思いがより強くなりました。さらに、会社の予算管理に関わったことで、より会社の経営にも興味を湧いています。今後も幅広い視点・立場から、JALの素晴らしさを広く発信していきたいと思っています。



大津 Otsu

羽田事業所
空港オペレーション
2018年入社
エアライン科卒



同じ目標に向かって
チームで仕事を進めていく

入社動機

以前は他の航空会社で電話による予約発券業務を行っていました。仕事は楽しかったのですが、お客さまと対面する機会のないデスクワークだったため、「お客さまから伺った要望はどのように引き継がれ、どのような形で提供されるのだろうか?」と現場を知りたい気持ちが強くなり、転職を決意。働くなら、幼い頃から利用していたJALグループが良いと思い、当社を選択しました。

現在の仕事内容

搭乗手続きや航空券の予約・発券などを行うカウンター業務のヘッドポジション、ラウンジ受付業務、搭乗口のアサインコントロール業務、手荷物関連業務、接客業務を日替わりで担当しています。破損した手荷物の対応や手荷物捜索などの手荷物関連業務と、要人対応を行う接客業務は経験を重ねなければできない業務で、私は3年目の後半から担当するようになりました。

仕事の魅力・やりがい

特別なご事情があり、空席待ちをご希望されていたお客さまが無事搭乗できたことを確認したときや、何らかの問題が発生していた便が関連部署と連携して解決に当たったことで無事出発できたときにやりがいを感じます。限られた時間の中で協力しながらチームで仕事を進めていく、そんな働き方がとても楽しく、モチベーションも高く維持できています。

入社後に感じたギャップ

飛行機の運航は、天候や国内外のさまざまな情勢の影響を受けやすく、突然厳しい状況に置かれることもある、ということ。だからこそ、お客さまに「この便があってよかった。ありがとう」というお言葉をいただいたときはとても嬉しく、お客さまとお会いできる喜びを改めて噛み締めました。体力勝負の仕事ですが、助け合い、支え合える仲間たちがいるから乗り越えることができている。

今後の目標

苦手な業務を克服し、まだ経験していない業務をマスターすること。仕事をしていると「これはどういう意味なんだろう?」「どうしてこれをするんだろう?」と疑問が湧くこともあります。経験を重ねることでそれが解消され、点と点がつながって線になっていけば、仕事はもっと面白くなると思います。



制度を知る

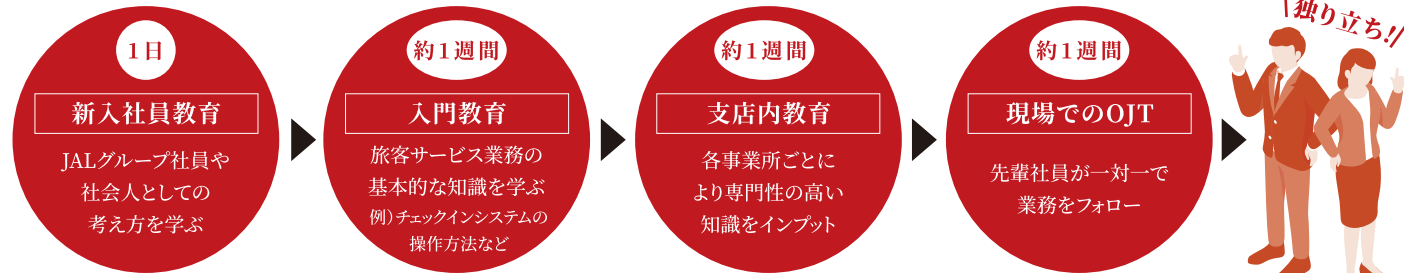
JALグループの経営や空港の運営など、責任ある仕事を担っていく人財を目指すために、たくさんの教育研修が用意されています。



教育研修制度紹介

入社後にまず受ける新入社員研修や、リーダーや管理職などへ昇格後に新しい職階として働く上での心構えや求められる役割を学ぶ階層別研修、JALグループが主催する各種研修制度など、常に学びながら成長できる環境が整っています。

新入社員教育(イメージ)



※半年～1年で基礎スキルを獲得し、その後も適性によりさまざまな業務の教育・OJTあり

JALスカイ階層別研修

サブリーダー、リーダー、スーパーバイザー、マネジャーとキャリアアップしていく中で、それぞれの職階に合わせた研修を実施。能力開発や各職階における意識付けだけでなく、これからのJALスカイを創っていくため、さまざまな研修を通じて仲間同士で刺激し合い、最強のチーム創りのための結束力を高めることも目標としています。

JALグループ教育研修

JALグループの全社員が集まって仕事の気づきや体験を共有する「JALフィロソフィ勉強会」や、DX人材の育成を目的とした「全社DX人材育成プログラム」、その他にも安全の重要性を理解するために、実際の事故現場である御巣鷹山に慰霊登山を行い、事故に関わった方の話を聞くことで意識を高める研修など、多様な研修を実施しています。

研修参加者の声

階層別研修



各職階に求められるスキルや考え方を学び、今の自分に必要なことや普段の業務でできていないことなど、客観的に自分自身を見つめ直すことができます。今後に活かしたい新たな発見や、自分のキャリアをじっくり考える時間にもなりました。

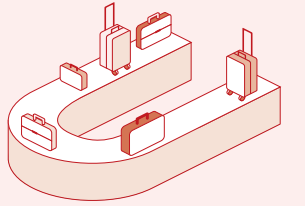
デジタル活用プログラム



プログラムの作成方法や、組織にDXを浸透させる方法や、どのような問題にDXが向いているかなど、考え方やノウハウなども学びました。講義で学んだ「まずは身の回りの小さなことから」を胸に、周囲の困りごとにDXでアプローチしていきたいです。

JALスカイのリアルを知る

実際に働いている若手社員に本音を聞いてみました!



JALスカイを漢字ひと文字で表すと?



お客さまに対する愛、空に対する愛、働く仲間との間に温かい愛を感じます。

イレギュラー時や繁忙期など、団結して連携を取っているから。

仕事もプライベートもイキイキとしている方が多いからです。

入社前と入社後でイメージのギャップはありましたか?

想像より身体を使いますが、体力・身体づくりのきっかけになりました!

覚えなくてはいけない知識がたくさんあり、入社1年目は慣れるまでが大変だった。

シフト制に不安があったが、身体が慣れてプライベートの時間を楽しんでいます!

毎日違う業務に携われ、飽きることなく楽しくできる。

早番のときに朝起きられるか不安でしたが、今では1日を有効に使えて感じています!



JALスカイへの入社決め手は?

就職活動を通して、自分の人となりをしっかり見てくれたから。

英語やその他の言語など、語学スキルを活かせる!

顧客としてJALを利用した際のサービスや職員の方の気遣い、心配りです。

説明会で質問に答えてくださった方が素敵で一緒に働きたいと思ったから。

お客さまの旅の良い思い出づくりをサポートできる存在になりたかったから。

JALフィロソフィに感動したこと、素晴らしい環境が整っていると感じたから。

JALスカイって〇〇な人が多い!

「好き」が仕事になっていて、とにかく笑顔で明るい人が多いです!

コミュニケーション能力やチームワークに優れ、柔軟性や適応力がある人。

困っている人に声をかけたり、世話好きな人が多いです。

臨機応変に対応でき、優先順位を考えながら仕事ができる人。

話しやすく、温かい人柄の方が多いです。

ホスピタリティの心を持ち、他方優先な人が多いです。